

「食と農のプロデューサー」育成プロジェクト事業

事業主体名 鹿児島県立加世田常潤高等学校

1 目的

本校食農プロデュース科は、農業における生産・加工・流通を一貫して学び、六次産業化を担う人材育成を目標としている。その達成のためには、市場や消費者のニーズをよく理解したうえで、消費者までの流通の道筋を設計しながら生産する力が求められる。本校の教育課程に加え、校外での研修を重ねることで、地域の六次産業化の担い手である「食と農のプロデューサー」の育成を目的とする。

2 実施状況（主要なものを選定して記載してください）

(1) 県外販売会への出店

8月に「うましか甲子園」、1月に「食の逸品販売会 in 天神」に出店した。学校生産物の販売を通じて、市場や消費者動向の理解を深めた。また、地元の顧客以外のお客様に販売することで、商品説明や店舗装飾を工夫し、商品の魅力の伝え方も学ぶことができた。本研修を踏まえ、今後の商品開発に必要な「具体的な顧客のターゲット設定」が可能となり、プロデューサーとしての資質を高める上で貴重な学びの機会となった。



(2) マーケティング研修

川辺道の駅、マルヤガーデンズ、おいどん市場谷山館の食品売場を訪問し、店舗毎の顧客のターゲット・価格帯・品揃え・売場装飾の違いをレポートにまとめることで、商品開発に必要な商品知識や市場理解を深めることができた。事後研修では、購入した商品のパッケージの特徴や、味付けと価格のバランスについて検討会を行い、学びの定着を図った。



3 今後の課題、取り組み

社会経験の未熟な高校生が、地域農業の六次産業化という課題解決に取り組むにあたっては、商品の多様性や市場の理解を深めることが第一である。今後、「マーケットイン手法」での商品開発に取り組んでいくが、農家・デザイナー・バイヤーなど、積極的に各方面の実務者との連携を図る必要がある。食と農のプロデューサー育成に向け、今後も研究を深めたい。